

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」  
《タイムスタディ調査 集計結果速報》

## 1 患者1人1日当り総ケア時間

### ■医療療養病棟における患者1人1日当り総ケア時間(平均)

	平成18年度調査	平成16年度調査
患者数	2,997人	3,538人
総ケア時間	205分	176分
(再掲)間接ケア時間	28分	27分
(再掲)個別ケア時間	177分	149分

※平成18年度調査(速報版)は、70病院における療養病棟入院基本料2を算定している病棟を対象としたもの。

平成16年度調査は、89病院における療養病棟入院基本料及び特殊疾患療養病棟入院基本料を算定している病棟を対象としたもの。

※間接ケア時間は、「食事・休憩等」と「病棟外の活動」の時間を除く、「会議・研修等」、「定期的書類作成」、「管理・運営」、「病棟維持・管理」の時間とした。

個別ケア時間は、調査対象病棟の各患者のケアに要した時間とした。

### ■個別ケア時間の職種別内訳

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	177分	149分
(再掲)医師	5分	3分
(再掲)看護師	44分	34分
(再掲)准看護師	38分	35分
(再掲)看護補助者	69分	61分
(再掲)リハスタッフ	13分	10分
(再掲)その他職種	8分	6分

■患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	151分	121分
(再掲)医師	16分	10分
(再掲)看護師	44分	34分
(再掲)准看護師	34分	28分
(再掲)看護補助者	41分	36分
(再掲)リハスタッフ	10分	8分
(再掲)その他職種	7分	5分

※職種別人件費重み付けケア時間は、患者1人1日当りの個別ケア時間に職種別の人件費の相対比を乗じて算定した。平成18年度と平成16年度の職種別人件費の相対比は、下表のとおりとした。

職種別人件費の相対比

職種	H18		H16	
	人件費 (円/時間)	相対比	人件費 (円/時間)	相対比
医師	7,631 円	3.35	7,352 円	2.95
看護師	2,276 円	1.00	2,488 円	1.00
准看護師	1,997 円	0.88	2,023 円	0.81
看護補助者	1,349 円	0.59	1,454 円	0.58
リハスタッフ(PT,OT,ST)	1,802 円	0.79	2,046 円	0.82
その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	1,808 円	0.79	2,139 円	0.86

## 2 患者分類(11区分)別のケア時間の状況

### ■患者分類(11区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分を除く)

平成18年度調査					平成16年度調査				
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体		医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	134	151	193	162	ADL区分3	112	127	173	132
ADL区分2	118	136	171	133	ADL区分2	103	122	155	113
ADL区分1	93(認)	107(認)	119	97	ADL区分1	85(認)	103(認)	106	83
	87	105				75	89		
全体	111	133	185	141	全体	96	118	164	113

※リハスタッフ分を除いた患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間である。

### ■患者分類(11区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間の相対比

平成18年度調査					平成16年度調査				
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体		医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	0.953	1.073	1.372	1.149	ADL区分3	0.989	1.124	1.534	1.174
ADL区分2	0.838	0.966	1.212	0.942	ADL区分2	0.914	1.082	1.371	1.002
ADL区分1	0.664	0.757	0.844	0.691	ADL区分1	0.751	0.910	0.941	0.735
	0.621	0.743				0.662	0.789		
全体	0.790	0.942	1.317	1.000	全体	0.848	1.047	1.450	1.000

※最大値と最小値に網掛け

### ■患者分類(11区分)別の患者数分布

平成18年度調査					平成16年度調査				
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体		医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	7.8	28.9	16.8	53.5	ADL区分3	13.9	18.9	9.8	42.5
ADL区分2	10.5	11.9	3.0	25.4	ADL区分2	16.7	11.2	1.5	29.4
ADL区分1	2.7	2.0	1.3	21.1	ADL区分1	4.4	2.1	1.4	28.1
	8.6	6.5				14.2	6.0		
全体	29.6	49.3	21.1	100.0	全体	49.2	38.2	12.6	100.0

### 3 医師による直接医療提供頻度及び看護師による直接看護提供頻度別ケア時間

#### ■H18年度 医師による直接医療提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	47.2	107	27.8	130	9.7	154	29.7	121
I 32 医師医療提供頻度 週1回程度	41.8	113	43.7	138	33.8	163	41.0	135
I 33 医師医療提供頻度 週2～3回程度	6.9	131	21.5	150	28.4	201	18.6	164
* I 34 医師医療提供頻度 毎日	1.4	162 ↑	4.8	179	19.7	201	6.9	191
* I 35 医師医療提供頻度 1日数回	0.2	166 ↑	0.3	108 ↓	2.9	236	0.8	205
* I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.1	118	0.1	202 ↑	4.1	248	1.0	240
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

#### ■H16年度 医師による直接医療提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	51.0	89	33.2	110	9.2	122	38.9	97
I 32 医師医療提供頻度 週1回程度	39.1	101	47.3	117	35.3	145	41.7	113
I 33 医師医療提供頻度 週2～3回程度	7.0	110	13.8	131	26.8	169	12.1	136
I 34 医師医療提供頻度 毎日	2.1	108	4.4	140	18.1	188	5.0	155
I 35 医師医療提供頻度 1日数回	0.0	.	0.4	224	3.1	225	0.5	224
I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.1	189	0.4	136	7.2	204	1.1	193
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

### ■H18年度 看護師による直接看護提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	58.4	103	27.3	121	10.3	142	32.9	113
I 42 看護提供頻度 定時以外1日1回～数回	34.5	120	46.9	141	36.9	176	41.1	142
* I 43 看護提供頻度 頻回の観察	5.5	141 ↑	19.5	162	35.0	189	18.6	171
I 44 看護提供頻度 24時間観察	1.2	133	6.2	140	17.1	224	7.0	183
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

### ■H16年度 看護師による直接看護提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	62.0	89	36.5	102	9.4	121	45.6	94
I 42 看護提供頻度 定時以外1日1回～数回	32.6	106	45.9	122	33.3	150	37.8	118
I 43 看護提供頻度 頻回の観察	4.4	116	13.9	143	34.9	169	11.9	148
I 44 看護提供頻度 24時間観察	0.5	100	3.3	140	22.1	193	4.3	172
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 4 記憶に関する状態別のケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
II 1 意識障害者である	8.3	130	24.3	150	35.3	194	21.9	163
II 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0	.	14.1	155	48.7	196	8.7	170
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注1) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

(注2)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。  
 a. 注意がそらされやすい / b. 周囲の環境に関する認識が変化する / c. 支離滅裂な会話が時々ある /  
 d. 落ち着きがない / e. 無気力 / f. 認知能力が1日の中で変動する

### ■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
II 1 意識障害者である	9.8	111	22.0	122	40.7	171	18.4	133
II 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0	.	3.6	135	3.1	158	1.8	140
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

(注)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。  
 a. 注意がそらされやすい / b. 周囲の環境に関する認識が変化する / c. 支離滅裂な会話が時々ある /  
 d. 落ち着きがない / e. 無気力 / f. 認知能力が1日の中で変動する

## 5 気分と行動に関する状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0	.	14.1	131	3.0	181	7.6	135
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	1.1	105	2.8	136	0.2	153	1.7	131
IV2b 問題行動 暴言が毎日	0.9	135	4.3	138	1.9	183	2.8	144
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0	.	3.8	135	1.1	186	2.1	141
IV2d 問題行動 不適当行為が毎日	2.4	144 ↑	5.3	147	2.4	221	3.8	156
* IV2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	2.4	140 ↑	6.2	136	4.4	209	4.7	151
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注1)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

(注2)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1-2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点以上の場合とした。

- a.否定的な言葉を言った/ b.自分や他者に対する継続した怒り/ c.現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/  
d.健康上の不満を繰返した/ e.たびたび不安、心配事を訴えた/ f.悲しみ、苦悩、心配した表情/ g.何回も泣いたり涙もろい

### ■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0	.	11.4	118	5.1	163	5.0	124
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	2.4	98	1.8	136	0.2	341	1.9	115
IV2b 問題行動 暴言が毎日	1.1	104	3.6	129	1.8	128	2.2	122
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0	.	3.0	127	1.3	224	1.3	140
IV2d 問題行動 不適当行為が毎日	2.6	107	4.2	125	1.8	183	3.1	121
IV2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	2.5	122	5.3	123	4.0	192	3.7	132
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

(注)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1-2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点以上の場合とした。

- a.否定的な言葉を言った/ b.自分や他者に対する継続した怒り/ c.現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/  
d.健康上の不満を繰返した/ e.たびたび不安、心配事を訴えた/ f.悲しみ、苦悩、心配した表情/ g.何回も泣いたり涙もろい

## 6 疾患の状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
VI1a 疾患 糖尿病	14.7	108	17.1	144	13.2	191	15.5	143
VI1b 疾患 不整脈	5.5	113	5.5	150	6.3	187	5.7	148
VI1c 疾患 うっ血性心不全	3.3	106	3.2	160	7.6	198	4.1	162
* VI1d 疾患 急性心不全	0.2	139	0.2	111 ↓	1.1	201	0.4	168
VI1e 疾患 慢性心不全	8.7	120	7.7	139	14.9	186	9.5	149
VI1f 疾患 高血圧症	22.8	102	19.6	136	14.9	169	19.6	129
VI1g 疾患 虚血性心疾患	5.3	120	5.3	140	4.3	205	5.1	145
VI1h 疾患 大腿骨頸部骨折	8.2	106	5.9	145	3.8	180	6.2	134
VI1i 疾患 脊椎圧迫骨折	2.4	97	3.0	125	2.2	178	2.7	127
VI1j 疾患 その他の骨折	4.6	104	3.5	141	2.1	170	3.5	131
VI1k 疾患 関節リウマチ	1.7	124	2.4	127	1.1	212	1.9	137
VI1l 疾患 アルツハイマー病	2.9	128	3.7	147	5.4	192	3.8	156
VI1m 疾患 失語症	6.8	118	9.0	144	8.7	192	8.3	148
* VI1n 疾患 脳性麻痺	0.3	152 ↑	0.7	154	0.3	143	0.5	153
VI1o 疾患 脳梗塞	38.1	111	34.5	140	36.0	187	35.9	141
VI1p 疾患 脳出血	18.2	120	16.4	142	16.0	186	16.8	144
VI1q 疾患 アルツハイマー病以外の認知症	16.9	116	21.1	141	13.5	193	18.3	142
VI1r 疾患 片側不全麻痺/片麻痺	17.9	116	12.4	140	8.6	176	13.2	136
* VI1s 疾患 多発性硬化症	0.0	.	0.5	114	0.3	186	0.3	130
VI1t 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0	.	13.7	134	7.0	192	8.2	145
VI1u 疾患 四肢麻痺	4.1	123	10.6	154	11.1	193	8.8	160
VI1v 疾患 仮性球麻痺	11.4	123	15.3	146	18.4	202	14.8	156
VI1w 疾患 スモン	0.0	.	0.0	.	0.3	232	0.1	232
VI1x 疾患 その他の神経難病	0.0	.	3.5	149	2.5	204	2.3	162
VI1y 疾患 神経難病以外の難病	0.0	.	3.2	120	1.4	177	1.9	129
VI1z 疾患 脊髄損傷	2.5	123	2.9	147	0.8	272	2.3	148
VI1zu 疾患 脊髄損傷(四肢麻痺が伴う)	0.0	.	1.3	147	0.5	244	0.7	161
VI1aa 疾患 喘息	2.4	94	2.6	143	5.4	162	3.1	139
VI1ab 疾患 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0	.	4.2	140	12.5	167	4.7	155
VI1ac 疾患 がん(悪性腫瘍)	4.5	112	5.2	142	8.7	188	5.7	150
VI1acx 疾患 がん(疼痛コントロールが必要)	0.0	.	1.1	133	1.7	227	0.9	170
* VI1ad 疾患 腸閉塞	0.7	123	0.8	139	3.5	187	1.3	163
VI1ae 疾患 腎不全	3.4	102	5.2	156	4.3	198	4.5	152
* VI1af 疾患 肝不全	0.6	99	0.5	126	1.0	160	0.6	130
VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	0.9	143 ↑	3.3	170	10.9	198	4.2	183
VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染症)	0.0	.	0.0	.	0.2	163	0.0	163
VI2c 感染症 肺炎	0.0	.	9.8	160	26.0	203	10.3	182
* VI2d 感染症 上気道感染	0.9	136	2.7	145	3.2	196	2.3	159
VI2e 感染症 敗血症	0.1	160 ↑	0.0	.	0.6	214	0.2	203
VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.0	.	0.0	.	0.0	.	0.0	.
VI2g 感染症 上記以外の結核	0.1	87	0.2	152	0.0	.	0.1	136
VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0	.	11.4	145	10.8	216	7.9	165
VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	1.0	121	0.7	152	0.0	.	0.6	137
* VI2j 感染症 急性胆嚢炎	0.3	171 ↑	0.3	196 ↑	1.3	188	0.5	187
VI2k 感染症 急性腹膜炎	0.0	.	0.0	.	0.0	.	0.0	.
VI2l 感染症 急性膵炎	0.0	.	0.1	106 ↓	0.2	128 ↓	0.1	117
VI2m 感染症 創感染	0.0	.	1.1	133	1.3	219	0.8	161
VI2n 感染症 皮膚の感染症	0.6	142 ↑	1.9	162	2.2	231	1.6	180
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。



■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
VI1a 疾患 糖尿病	13.8	97	16.2	116	12.5	155	14.6	111
VI1b 疾患 不整脈	4.6	94	4.6	109	9.6	182	5.2	120
VI1c 疾患 うっ血性心不全	7.2	99	10.3	111	17.2	168	9.7	119
VI1d 疾患 高血圧症	21.5	95	17.9	116	13.9	164	19.2	109
VI1e 疾患 虚血性心疾患	5.7	89	7.5	113	6.5	152	6.5	107
VI1f 疾患 大腿骨頸部骨折	6.9	97	6.7	116	4.7	181	6.6	112
VI1g 疾患 脊椎圧迫骨折	3.3	87	3.0	116	1.1	218	2.9	105
VI1h 疾患 その他の骨折	4.0	90	2.9	127	2.2	161	3.4	108
VI1i 疾患 アルツハイマー病	7.4	104	6.2	121	3.8	185	6.5	116
VI1j 疾患 失語症	4.2	105	6.1	110	6.7	162	5.2	116
VI1k 疾患 脳性麻痺	0.6	93	0.4	88	0.4	122	0.5	95
VI1l 疾患 脳梗塞	40.8	99	36.3	119	31.5	170	37.9	114
VI1m 疾患 脳出血	15.8	97	14.8	120	20.1	170	16.0	117
VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の認知症	19.1	100	16.7	121	11.2	189	17.2	115
VI1o 疾患 片側不全麻痺/片麻痺	15.0	102	12.9	122	10.1	166	13.6	115
VI1p 疾患 多発性硬化症	0.0	.	0.9	123	0.4	180	0.4	131
VI1q 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0	.	15.4	112	6.0	172	6.6	119
VI1r 疾患 四肢麻痺	3.5	111	9.3	127	11.0	173	6.7	133
VI1s 疾患 その他の神経難病	0.0	.	4.7	126	8.7	182	2.9	147
VI1t 疾患 神経難病以外の難病	0.0	.	1.0	107	0.4	158	0.5	113
VI1u 疾患 脊髄損傷	1.7	88	2.3	116	1.3	209	1.9	112
VI1u 疾患 四肢麻痺を伴う脊髄損傷	0.0	.	1.1	133	0.4	313	0.5	154
VI1v 疾患 喘息	2.1	99	2.4	121	3.1	138	2.3	114
VI1w 疾患 肺炎腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0	.	3.5	103	11.2	144	2.7	124
VI1x 疾患 がん(悪性腫瘍)	5.1	100	5.8	113	6.5	157	5.5	114
VI1x 疾患 疼痛コントロールが必要な悪性新生物	0.0	.	1.3	119	1.1	168	0.6	130
VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	0.6	117	3.0	127	9.6	181	2.6	151
VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染症)	0.0	.	0.2	97	0.0	.	0.1	97
VI2c 感染症 肺炎	0.0	.	11.5	129	29.8	185	8.1	155
VI2c 感染症 発熱を伴う肺炎	0.0	.	2.8	146	15.7	196	3.1	178
VI2c 感染症 発熱を伴わない肺炎	0.0	.	8.7	123	14.1	173	5.1	141
VI2c 感染症 肺炎(喀痰吸引1日8回以上)	0.0	.	3.2	135	16.6	194	3.3	173
VI2d 感染症 上気道感染	1.7	101	3.3	127	9.4	185	3.3	142
VI2e 感染症 敗血症	0.1	130	0.1	207	0.9	221	0.2	203
VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.1	72	0.1	149	0.0	.	0.1	123
VI2g 感染症 上記以外の結核	0.1	85	0.4	101	0.7	102	0.3	98
VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0	.	8.5	121	6.9	177	4.1	133
VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	0.9	90	0.4	100	1.3	219	0.8	120
VI2j 感染症 創感染	0.0	.	1.3	135	2.0	163	0.7	144
VI2j 感染症 足以外の創傷処置と創感染	0.0	.	0.1	124	0.4	126	0.1	125
VI2j 感染症 足の創傷処置と創感染	0.0	.	0.3	125	0.2	146	0.1	129
VI2k 感染症 皮膚の感染症	0.6	107	1.4	134	2.7	196	1.2	144
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 7 症状と状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
VII1a 問題状況 脱水	0.0	.	6.1	157	10.3	218	5.2	182
VII1b 問題状況 妄想	2.8	121	6.8	138	2.5	246	4.7	147
VII1c 問題状況 発熱	2.9	155 ↑	13.3	159	44.7	196	16.9	180
VII1d 問題状況 幻覚	1.7	115	3.9	134	2.4	207	2.9	143
* VII1e 問題状況 体内出血	0.0	.	0.9	165	3.5	231	1.2	207
VII1f 問題状況 嘔吐	0.0	.	3.0	138	3.2	195	2.2	156
* VII1g 問題状況 胸水	0.2	147 ↑	1.0	175	4.9	210	1.6	197
* VII1h 問題状況 腹水	0.0	.	0.2	180	2.2	223	0.6	216
VII1i 問題状況 高カルシウム血しょう	0.0	.	0.2	115	0.2	227	0.1	143
* VII1j 問題状況 悪疫質	0.1	152 ↑	0.3	154	2.2	210	0.7	193
VII1k 問題状況 消化管の通過障害	0.0	.	0.1	95 ↓	1.4	231	0.4	207
VII2a 痛み 頻度(痛みあるが毎日ではない以上)	21.3	108	19.1	141	11.1	189	18.1	135
VII2a 痛み 頻度(毎日)	11.2	107	10.5	147	7.3	207	10.0	143
VII2b 痛み 程度(中程度の痛み以上)	8.5	109	9.1	145	6.3	198	8.3	143
VII2b 痛み 程度(激しい痛み)	1.2	110	0.8	155	1.3	252	1.0	164
* VII3a 状態の安定性 個室管理	0.5	144 ↑	1.1	142	9.8	214	2.8	196
VII3b 状態の安定性 急性症状発生	2.9	90	8.7	149	21.4	216	9.6	175
* VII3c 状態の安定性 余命6ヶ月以下	0.6	148 ↑	0.4	201 ↑	4.3	257	1.3	234
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅶ1a 問題状況 脱水	0.0	.	1.8	140	5.1	191	1.3	165
Ⅶ1b 問題状況 妄想	2.1	105	3.1	131	2.0	161	2.5	123
Ⅶ1c 問題状況 発熱	2.7	118	13.6	136	39.8	178	11.5	152
Ⅶ1d 問題状況 幻覚	1.2	99	2.7	119	2.2	169	1.9	120
Ⅶ1e 問題状況 体内出血	0.0	.	1.0	117	3.1	163	0.8	140
Ⅶ1f 問題状況 嘔吐	0.0	.	1.7	158	2.9	147	1.0	154
Ⅶ2a 痛み 頻度(痛みあるが毎日ではない以上)	20.7	93	23.6	119	16.8	178	21.3	112
Ⅶ2a 痛み 頻度(毎日)	9.1	95	13.0	117	9.2	165	10.6	113
Ⅶ2b 痛み 程度(中程度の痛み以上)	7.6	95	11.6	118	9.8	175	9.4	116
Ⅶ2b 痛み 程度(激しい痛み)	0.7	87	1.2	127	2.2	146	1.1	120
Ⅶ3a 状態の安定性 絶対安静	0.1	116	0.4	129	9.4	202	1.4	191
Ⅶ3b 状態の安定性 個室管理	0.4	128	1.0	115	7.2	206	1.5	171
Ⅶ3c 状態の安定性 急性症状発生	2.0	101	5.6	139	23.3	184	6.0	155
Ⅶ3d 状態の安定性 余命6ヶ月以下	0.4	112	1.0	147	5.4	175	1.2	157
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 8 栄養状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
VII2a 中心静脈栄養	0.0	.	0.0	.	31.2	198	6.6	198
* VII2b 末梢静脈栄養	1.6	160 ↑	3.7	183	17.9	207	6.1	196
VII2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	17.8	124	45.8	151	43.7	189	37.1	156
VII2c 発熱のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0	.	8.9	158	24.2	195	9.5	178
VII2c 嘔吐のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0	.	2.0	150	2.1	199	1.4	165
VII2 摂取カロリー-の割合 1%以上	18.0	132	49.2	152	78.8	194	46.2	164
VII2 摂取カロリー-の割合 26%以上	17.5	132	47.6	151	75.6	194	44.6	164
VII2 摂取カロリー-の割合 51%以上	17.2	131	46.9	151	73.7	193	43.7	164
VII2 摂取カロリー-の割合 76%以上	16.5	132	46.0	151	70.8	193	42.5	164
VII2 摂取水分量 1cc以上	19.2	129	50.0	152	80.8	193	47.3	164
VII2 摂取水分量 501cc以上	18.5	129	48.0	152	77.0	194	45.4	164
VII2 摂取水分量 1001cc以上	16.1	128	42.7	152	70.2	195	40.6	165
VII2 摂取水分量 1501cc以上	7.4	122	22.4	149	38.7	192	21.4	163
VII2 摂取水分量 2001cc以上	0.7	148 ↑	2.6	160	5.7	180	2.7	168
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↓印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

### ■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
VII2a 中心静脈栄養	0.0	.	0.0	.	19.9	161	2.5	161
VII2b 末梢静脈栄養	0.9	114	3.4	157	17.9	184	4.0	168
VII2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	16.9	108	38.5	126	44.3	170	28.6	129
VII2c 発熱のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0	.	8.1	130	18.1	174	5.4	148
VII2c 嘔吐のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0	.	0.5	144	1.6	162	0.4	153
VII2 摂取カロリー-の割合 1%以上	18.0	108	41.4	127	72.0	169	33.8	133
VII2 摂取カロリー-の割合 26%以上	17.6	107	40.4	126	68.9	171	32.8	133
VII2 摂取カロリー-の割合 51%以上	17.2	107	39.5	126	66.2	170	31.9	133
VII2 摂取カロリー-の割合 76%以上	17.0	107	38.9	126	62.6	168	31.1	132
VII2 摂取水分量 1cc以上	18.7	110	42.7	128	74.0	170	34.9	134
VII2 摂取水分量 501cc以上	17.4	109	39.5	127	69.4	171	32.4	134
VII2 摂取水分量 1001cc以上	14.8	108	32.8	128	56.8	171	27.0	134
VII2 摂取水分量 1501cc以上	6.6	112	15.8	127	28.4	162	12.9	133
VII2 摂取水分量 2001cc以上	0.3	96	2.1	128	2.9	149	1.4	130
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 9 皮膚の状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IX1 褥瘡・潰瘍 2箇所以上	0.0	.	4.9	166	7.3	224	4.0	188
IX2a 褥瘡 2度以上	0.0	.	10.0	155	17.7	216	8.7	182
IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0	.	1.3	177	1.3	233	0.9	194
* IX3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	1.7	153 ↓	5.5	157	4.1	226	4.1	171
IX3b 皮膚他問題 II度以上の火傷	0.1	118	0.3	171	0.3	159	0.2	160
* IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開放創	0.2	147 ↑	2.8	156	3.2	220	2.1	176
IX3d 皮膚他問題 発疹	8.2	107	12.9	147	13.9	181	11.7	147
IX3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が鈍	4.6	114	11.5	151	13.3	213	9.8	163
IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以外)	0.5	160 ↑	1.8	150	1.0	231	1.2	164
* IX3g 皮膚他問題 手術創	0.1	192 ↑↑	1.7	128	1.3	204	1.1	148
IX4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用具を使用	41.5	127	63.4	150	81.3	194	60.7	157
IX4b 皮膚のケア 体位変換	46.1	128	69.7	149	87.3	190	66.4	156
IX4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養剤	2.9	121	11.5	161	9.5	203	8.5	167
IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0	.	8.1	152	10.9	215	6.3	175
IX4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0	.	2.4	145	1.9	214	1.6	163
IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬使用)	0.0	.	8.0	161	6.7	235	5.3	180
IX4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	14.2	111	26.1	148	25.4	199	22.4	153
IX4h 皮膚のケア 広範な皮膚の処置	5.4	104	8.4	146	10.0	202	7.8	152
IX4i 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚のケア	10.0	133	24.0	152	22.7	211	19.6	163
IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	1.0	108	2.3	164	1.7	195	1.8	161
IX5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0	.	1.4	142	2.2	177	1.2	156
IX5c 足の問題とケア 開放創	0.0	.	0.6	157	0.5	285	0.4	189
IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこが痛	8.9	110	13.0	154	13.5	196	11.9	154
* IX5e 足の問題とケア 保護的なケア	1.8	131	3.1	155	2.5	196	2.6	158
IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0	.	7.4	160	4.8	217	4.7	172
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間(分)
IX1 褥瘡・潰瘍 2箇所以上	0.0	.	6.1	130	8.9	156	3.4	139
IX2a 褥瘡 2度以上	0.0	.	12.8	129	14.8	175	6.8	141
IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0	.	1.2	127	1.1	163	0.6	135
IX3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	2.0	104	5.1	124	4.9	187	3.5	130
IX3b 皮膚他問題 II度以上の火傷	0.1	77	0.1	87	0.4	167	0.1	124
IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開放創	0.5	86	3.1	120	2.2	130	1.7	117
IX3d 皮膚他問題 発疹	9.8	100	12.9	122	13.2	169	11.4	119
IX3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が鈍	3.4	113	8.4	127	9.8	179	6.1	134
IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以外)	0.3	133	1.7	122	1.3	161	1.0	130
IX3g 皮膚他問題 手術創	0.1	89	1.0	119	3.6	198	0.9	157
IX4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用具を使用	39.5	108	59.0	125	79.6	170	52.0	127
IX4b 皮膚のケア 体位変換	50.3	108	69.6	125	84.6	170	62.0	126
IX4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養	2.6	111	9.6	128	12.1	188	6.5	139
IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0	.	10.4	124	10.5	169	5.3	135
IX4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0	.	1.8	128	3.4	188	1.1	151
IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬使用)	0.0	.	7.2	119	6.3	172	3.5	131
IX4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	15.5	99	27.9	120	28.4	170	21.8	121
IX4h 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚	14.4	102	23.9	124	30.2	172	20.0	125
IX3 皮膚のケアの伴う開放創又は手術創	0.5	87	4.1	120	5.6	173	2.5	132
IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	4.5	109	6.3	121	6.7	194	5.5	127
IX5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0	.	1.3	142	0.7	183	0.6	148
IX5c 足の問題とケア 開放創	0.0	.	0.7	146	0.4	111	0.3	140
IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこが	10.3	93	12.0	116	4.7	186	10.3	109
IX5e 足の問題とケア 保護的なケア	1.4	107	3.9	115	3.8	168	2.7	122
IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0	.	7.9	118	4.3	188	3.5	129
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 10 注射・点滴別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X1 注射・点滴日数 1日以上	7.0	133	12.2	153	57.2	201	20.2	180
* X1 注射・点滴日数 2日以上	4.6	143 ↑	9.4	161	54.5	202	17.5	186
X1 注射・点滴日数 3日以上	4.2	149 ↑	7.8	164	51.3	202	15.9	188
X1 注射・点滴日数 4日以上	2.8	153 ↑	5.5	174	49.0	203	13.9	194
X1 注射・点滴日数 5日以上	2.6	158 ↑	4.7	176	47.5	203	13.1	196
X1 注射・点滴日数 6日以上	2.3	167 ↑	3.9	182	46.0	203	12.3	198
* X1 注射・点滴日数 7日以上	2.0	162 ↑	3.4	188 ↑	44.8	203	11.7	199
X2a 注射・点滴 補液	5.1	138	8.1	163	36.8	203	13.2	183
X2b 注射・点滴 抗生物質注射	2.4	158 ↑	5.7	174	31.1	221	10.1	204
X2c 注射・点滴 強心剤注射	0.0	.	0.0	.	1.7	214	0.4	214
* X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0	.	0.1	88 ↓	1.7	217	0.4	197
X2e 注射・点滴 24時間持続点滴	0.0	.	0.0	.	41.4	203	8.7	203
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

### ■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X1 注射・点滴日数 1日以上	5.7	124	14.7	139	52.3	179	15.0	154
X1 注射・点滴日数 2日以上	4.7	119	12.3	143	49.9	178	13.3	156
X1 注射・点滴日数 3日以上	3.7	122	9.9	143	47.0	179	11.5	158
X1 注射・点滴日数 4日以上	2.6	126	6.6	154	42.3	180	9.2	165
X1 注射・点滴日数 5日以上	2.1	122	5.5	154	39.4	178	8.1	164
X1 注射・点滴日数 6日以上	1.9	122	4.3	154	36.5	177	7.2	165
X1 注射・点滴日数 7日以上	1.7	125	3.9	157	35.1	177	6.8	166
X2a 注射・点滴 補液	5.2	123	11.9	146	38.5	181	11.9	155
X2b 注射・点滴 抗生物質注射	3.7	129	10.1	145	36.7	188	10.3	161
X2b 感染症で抗生物質注射	0.5	128	4.7	144	21.7	194	4.8	172
X2c 注射・点滴 強心剤注射	0.1	90	0.1	124	3.8	183	0.6	172
X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0	.	0.1	127	2.5	188	0.4	179
X2e 注射・点滴 24時間持続点滴	0.0	.	0.0	.	30.4	169	3.8	169
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

## 11 リハビリテーションの状態別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	70.9	112	65.2	139	53.9	190	64.5	139
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	18.8	102	13.4	126	6.2	189	13.5	123
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0	.	1.1	109 ↓	1.7	202	0.9	145
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0	.	3.9	132	1.3	187	2.2	139
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	10.8	111	6.2	152	7.0	193	7.7	143
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	10.0	108	7.5	140	6.2	154	8.0	131
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	48.9	113	45.4	137	36.3	195	44.5	139
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

### ■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	74.2	96	70.8	119	55.9	161	70.6	111
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	10.0	99	8.8	121	2.9	139	8.6	109
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0	.	1.6	130	0.2	130	0.6	130
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0	.	2.9	116	0.9	210	1.2	125
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	7.5	102	3.8	127	2.5	184	5.4	114
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	8.7	94	5.9	124	6.7	130	7.4	107
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	56.8	96	55.8	118	45.0	164	54.9	111
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113



## 12 処置別ケア時間

### ■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
* X II 1a処置 抗がん剤療法	0.2	140 ↑	0.3	175	0.6	298	0.3	217
* X II 1b処置 透析	0.0	.	4.8	146	0.3	150	2.4	146
X II 1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処	11.2	120	28.5	150	32.2	194	24.1	158
* X II 1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0	.	0.0	.	1.1	132 ↓	0.2	132
X II 1e処置 酸素療法	0.0	.	0.0	.	48.5	190	10.2	190
* X II 1f処置 放射線治療	0.0	.	0.0	.	0.2	82 ↓	0.0	82
X II g処置 吸引(1日8回以上)	0.0	.	29.5	157	46.0	201	24.2	174
X II g処置 吸引(1日1～7回)	4.4	135	8.2	146	16.3	195	8.8	164
X II 1h処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0.0	.	11.8	162	25.4	199	11.1	180
X II 1hc処置 発熱の伴う気管切開口・気管内挿	0.0	.	0.0	.	17.1	203	3.6	203
X II 1i処置 輸血	0.0	.	0.1	135	1.4	238	0.4	219
X II 1j処置 レスピレーター	0.0	.	0.0	.	5.2	229	1.1	229
X II 1k処置 緩和ケア	0.2	100	0.4	158	1.0	261	0.5	194
X II 1l処置 疼痛コントロール	3.7	100	4.3	138	3.2	198	3.9	137
X II 1m処置 膀胱留置カテーテル	4.8	133	12.3	161	36.0	200	15.1	178
X II 1n処置 感染隔離室におけるケア	0.0	.	0.0	.	9.0	199	1.9	199
X II 1o処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0	.	7.8	146	6.5	200	5.2	160
X II 1o処置 血糖チェック(週1回～1日2回)	3.4	102	4.3	147	6.8	206	4.5	155
X II 1p処置 インシュリン皮下注射(自己注射除く)	3.3	101	7.2	149	5.5	183	5.7	148
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。  
 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。  
 左端の\*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X II 1a処置 抗がん剤療法	0.3	113	0.0	.	0.0	.	0.2	113
X II 1b処置 透析	0.0	.	5.2	102	1.1	144	2.1	105
X II 1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処	9.1	106	22.7	124	26.6	180	16.5	131
X II 1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0	.	0.0	.	1.1	115	0.1	115
X II 1e処置 酸素療法	0.0	.	0.0	.	57.9	168	7.3	168
X II 1f処置 放射線治療	0.1	179	0.0	.	0.7	190	0.1	187
X II 1g処置 吸引(1日8回以上)	0.0	.	18.7	134	45.2	178	12.8	154
X II 1h処置 吸引(1日1～7回)	10.7	117	15.2	125	26.8	171	14.4	133
X II 1i処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0.0	.	10.1	137	28.0	172	7.4	154
X II 1i処置 発熱のある気管切開口・気管内挿管	0.0	.	0.0	.	11.0	182	1.4	182
X II 1j処置 輸血	0.1	48	0.3	161	1.8	178	0.4	163
X II 1k処置 レスピレーター	0.0	.	0.0	.	11.0	181	1.4	181
X II 1l処置 緩和ケア	0.7	97	1.8	112	2.2	204	1.3	127
X II 1m処置 疼痛コントロール	3.4	92	4.1	120	3.1	169	3.7	113
X II 1n処置 膀胱留置カテーテル	3.3	113	13.5	133	30.2	177	10.6	146
X II 1o処置 感染隔離室におけるケア	0.0	.	0.0	.	5.4	178	0.7	178
X II 1p処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0	.	2.7	117	3.1	194	1.4	138
X II 1q処置 血糖チェック(週1回～1日2回)	6.2	106	6.1	120	8.5	146	6.4	118
X II 1r処置 インシュリン皮下注射(自己注射除く)	3.7	97	5.7	118	4.0	172	4.5	116
X II 1r処置 血糖チェック1日3回以上でインシュリン皮	0.0	.	2.0	117	1.1	147	0.9	122
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113